QFN 通信

Qshu Forest Network News

NPO 法人　九州森林ネットワーク

第 34 号 since2005.6.1

発行日　2024.04.11

〈発　行〉
NPO 九州森林ネットワーク
本部：宮崎県諸塚村
〈編集責任〉
大分県・上津江オフィス

巻 頭 文　　理事長 佐藤 宣子（福岡県 福岡市）

今年の冬はとても厳しく長く、春が待ち遠しく、ようやく桜が咲き、新緑の季節をむかえています。会員の皆さま、ご元気でお過ごしでしょうか。

本通信では、昨年 10 月に開催した第 29 回九州森林フォーラムの報告と 5 月に開催するプレミアム研修の案内を掲載しています。29 回フォーラムでは 2024 年度に徴収がはじまった国版「森林環境税を見える化する」をテーマに、森林政策における市町村の現状や役割から学ぶことができました。様々な市町村の取り組みも紹介されています。また、福岡市の油山を訪問し、地域材の活用に森林環境譲与税が市とされている様子も見学することができました。

例年 5 月に開催している会員向けのプレミアム研修は、今年は熊本・阿蘇地方を巡ります。内装に小国スギが多用されている熊本空港や南郷檜（ナンゴウヒ）で知られる高森町などを訪問します。是非ご参加をお願いします。

当会は 2000 年に任意団体として発足、2004 年に法人化し、これまでに 29 回の九州森林フォーラムを各地で開催してきました。30 回目の記念フォーラムを計画するにあたって、じっくり準備をするために一年フォーラムをお休みし、今年はオンラインでの勉強会にすることにしました。九州の森林・林業はどうなっている？なかなか全体像が見えないという声にお応えするための勉強会を企画中です。その参加とともに、30 回の記念フォーラムで取り上げてほしいテーマなどがあれば、事務局にお知らせください。

皆様の地域での活動や取り組みに参考になる活動を続けていきたいと思います。引き続き、会員としても継続をよろしくお願い申し上げます。

NPO 法人九州森林ネットワーク　理事長　佐藤宣子



【目次】

第 29 回九州森林フォーラム in 福岡県福岡市 P.2～P.8
第 12 回 プレミアム研修会 告知 P.8

第 29 回 九州森林フォーラム in 福岡市 レポート

令和 6 年 10 月 25 日(金)、26 日(土)にて、九州森林フォーラムを開催いたしました。

1 日目の現地見学会では、油山市民の森内のシェアオフィスで、施設の指定管理者である JR リージョナルデザイン(株)小川真樹施設長様、施設整備をご担当された福岡市農林水産局総務農林部野見山聡課長様、森づくり推進課松尾拓也係長様、リニューアルを設計・施工された業者の皆様から、油山市民の森・油山牧場の全体の説明を受けました。

2 日目のフォーラムでは、すでに各自治体にて運用が始まっている森林環境税について考えました。森林地域の自治体での森林整備、林業振興、担い手の育成の事業とともに、森林が少ない自治体では地域産材の利用推進や上流自治体との連携等などに使っています。また、各自治体は森林環境税の使途を HP で公表することになっています。それを私たちはどう評価し、森林を豊かにするために何ができるでしょうか？

それらを議論する為に、市町村の森林行政研究に取り組まれている森林総合研究所の石崎涼子氏と愛知県豊田市の鈴木春彦氏に基調講演者をお願い致しました。

更に、NPO 法人山村塾理事長 小森耕太氏、諸塚村産業戦略課長若本裕貴氏、福岡市農林水産局総務農林部森づくり推進課長 野見山聡氏に事例発表を行って頂きました。その後、九州大学 農学研究院 教授 佐藤宣子氏をコーディネーターとして、小森耕太氏、若本裕貴氏、野見山聡氏の事例発表者 3 名と、基調講演講師として、石崎涼子氏、鈴木春彦氏に参加頂き、「森林環境税を見える化する」をテーマとして議論を行いました。 なお、フォーラムは対面とオンライン(YouTube 同時配信、チャット参加)で開催を行い、多くの方々のご参加を頂きました。

（参加者:フォーラム会場参加 57 名、オンライン参加 17 名、現地見学会参加 34 名）

10 月 25 日(金):現地見学会

・油山市民の森・油山牧場の説明





リニューアルを設計・施工された業者の皆様から、油山市民の森・油山牧場の全体の説明を受けました

・各施設の見学 1





ボタニカルショップ・カフェ、シェアオフィス

・各施設の見学 2





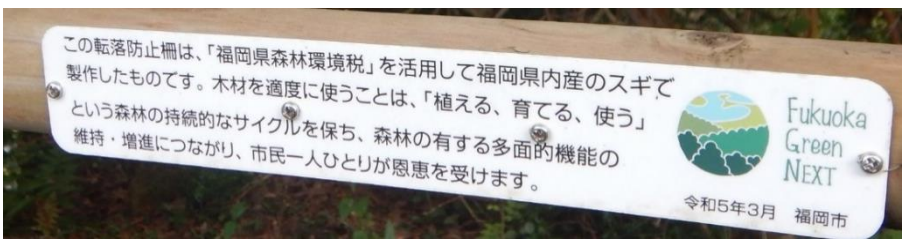
森の秘密基地のツリーハウス(左写真)、植生の説明(右写真)

・施設改修の説明





・森林環境税の説明看板



・各施設の見学 3





・現地見学参加者による集合写真



10 月 26 日(土)：フォーラム

基調講演①:石崎　涼子氏(国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所　森林経営・政策研究領域チーム長)　テーマ:「森林環境税をどうみるか？:森林政策と財政、市町村森林行政」





① 佐藤理事長による開会の挨拶





② 石崎　涼子 氏 講演の様子

基調講演②:鈴木 春彦 氏（豊田市地域森林総合管理士）

テーマ　:「市町村森林行政の方針・体制・人材：森林環境税を契機に考えたいこと」





③ 鈴木 春彦 氏 講演の様子

事例報告





④ 事例報告会の様子 小森 耕太 氏(左写真)、若本 裕貴 氏



⑤ 事例報告会の様子 野見山 聡 氏

パネルディスカッション(テーマ 「森林環境税を見える化する」)





⑥ パネルディスカッションの様子①





⑦　パネルディスカッションの様子②



⑧　記念撮影

アンケート結果

【フォーラムの感想】

・森林環境税譲与税の全体像を知る機会になりました。石崎先生ご説明が非常にわかりやすかった。鈴木さを、パネラーの方々から、事例を伺えてよかった。総会に参加して、団体の運営が、山側の自治体組合などの方々の業務に支えられているのを実感した。（一般　60 歳以上）

・1 日目の現地視察では、森林環境税が実際にどのように使われているかを直接見ることができ、見える化という点において、木材利用は非常にインパクトがあり、伝わりやすい一例であることを気付かされました。一方、2 日目の基調講演では、森林環境譲与税の設立経緯や本質的な部分（石崎先生）、その課題を踏まえて市町村がどのように取り組めるのかの手法的な部分（鈴木先生）を学ばせていただき、白書や報道からの情報ではわからない課題や取組事例を知る良い機会となりました。（学校関係　20 歳代）

・単に地域材を使用するという表面だけの取組だけではなく、次の世代へのストーリーを工務店としても考えていきたいと思います。（工務店　20 歳代）

・市町村森林行政に焦点を当てたお話で参考になりました。特にこれまで感覚として捉えていた市町村の人手不足

について、具体的な統計資料で説明していただき、目からウロコが落ちる想いでした。(行政　50 歳代)
・期待とおりの内容で勉強になりました。(設計　60 歳以上)
・年 1 回は森林環境税の使用方法を我々にも説明して欲しい。森林組合内ではうまく活用されているが中々審査が難しい。行政における担当者は3～5 年で異動されるので、中々関心が薄いのでは。(一般ユーザー　60 歳以上)

【今後取り上げて欲しいテーマ】
・環境税については数年に一度、法律やあらたな施策などの切り口から、事例を考える機会がよい。(森林ボランティア 60 歳以上)
・山地災害(学校関係 20 歳代)
・里山の活用、活性化した事例の紹介（もっと掘り下げて、川上から川下までの事を）をして欲しいです。森林の保持に里山の保全は欠かせないと想いので。(建築関係 40 歳代)
・イマーシブ　北海道の林業政策課が林業の現場を会議室に再現することで、高校生などへの興味や理解を深めるツールにしている。椎葉村 KATERIE　図書館機能だけでなく（外から夜間も入れる。）コインランドリーがあるなど地域＊＊を観光＊の利便に応える場所を兼ねている。(50 歳代)
・県と市町村の関係、市町村と森林組合の関係に着目したもの(行政 30 歳代)
・環境税が使用された実例を紹介して欲しいです。(林家 40 歳代)
・Ｊクレジット(林家・木材業 40 歳代)
・森と子どもたち(林家 50 歳代)

第 13 回 九州森林ネットワーク プレミアム研修 in 熊本・阿蘇

年に 1 回のフォーラムとは別に 5 月に会員限定で九州の林業地に出かけてフィールドで学ぶ、研修を実施しています。

第 13 回目となる 2025 年は 5 月 23 日（金）と 24 日（土）に熊本空港周辺と阿蘇地域で研修を行います。熊本空港は、小国スギで施設の木質化が実施され、憩いの場となっています。また、阿蘇の高森はナンゴウヒという高樹優良ヒノキが有名です。九州というとスギをイメージしますが、ナンゴウヒは九州大学造林学研究室の宮島寛先生が阿蘇南郷谷にちなんで命名されたもので、その森をゆっくり歩きます。

また、木の家づくりを推進する木材加工現場や薪生産で地域振興をはかる NPO 法人の活動など、雄大な阿蘇をフィールドに様々な活動を見学できる絶好の機会です。

◆開 催 日　　令和7年5月23日(金)～24日（土）　1泊2日

◆集合場所　　阿蘇くまもと空港 （集合：午前10時00分）

※お近くの会員様は乗り合わせてご参加ください。

交通アクセス：https://www.kumamoto-airport.co.jp/access/

阿蘇くまもと空港 交通アクセス

◆主な日程（予定：見学時間、当日の交通状況により予定時刻が変更になる場合があります。）

5月23日 （金曜日）	10:00 10：30	【集合】阿蘇くまもと空港　旅客ターミナルビル内案内所付近 【見学①】 阿蘇くまもと空港：小国スギで木質化した施設 熊本県上益城郡益城町大字小谷1802-2 https://www.kumamoto-airport.co.jp/ ・空港内で昼食（昼食代は各自でご負担ください。） ・熊本空港から見学②、見学③はレンタカー等に同乗し移動します。
	13:15	【見学②】 益城町復興まちづくりセンター「にじいろ」：子どもからお年寄りまで気軽に集える交流と住民活動の場。熊本地震の記憶の継承の場。災害に備える場 益城町大字宮園702番地内 （益城町役場南側） https://www.town.mashiki.lg.jp/fukkoumachi/kiji0035070/index.html
	15:30	【見学③】 エバーフィールド木材加工場：熊本県産の小国杉を使い、小中断面で材長4m以下の製材が互いにもたれかかるように支え合う「木造レシプロカル構造」により木造大空間を実現。TECTURE AWARD グランプリ受賞。 熊本県上益城郡甲佐町府領892 https://ever-field.com/event/efb/

	17:00	阿蘇くまもと空港　駐車場 ・レンタカー返却 ・空港から各自で移動
	18:00	【ホテル】 ・ホテル到着後、懇親会（宿泊ホテル内予定）
5月24日 （土曜日）	9:30	フロント集合 ・チェックアウト終了後、各自で移動
	10:00	【見学④】 阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会：熊本県阿蘇近隣の7市町村が協力し、郷土の宝「ナンゴウヒ」を、ニッポンの「阿蘇 南郷檜」としてブランド化する目的で発足。育成、販売、PRしていくとともに阿蘇の林業の活性化に取り組む。 事務局：熊本県阿蘇郡高森町大字高森2168　高森町役場　農林政策課内 https://aso-nangohi.com/contact/ ・見学狩猟後、移動途中で昼食（昼食代は各自負担）
	13:00	【見学⑤】 阿蘇市なみの高原やすらぎ交流館：NPO法人九州バイオマスフォーラム（バイオマス利活用に関する広報・啓発活動等を行うことによって、利用可能な生物資源を用いた循環型社会の形成を九州において実現することを目的に活動）の取組紹介。 熊本県阿蘇市波野大字小地野663-1 https://kbiomass.org/
	15:00	【解散】

参加費　18,000 円　（1 泊朝食付き宿泊、懇親会費、観覧料等）

＊昼食代は参加費に含まれておりません、各自でご負担ください。

＊直前のキャンセルについては、キャンセル料を請求させていただく場合がありますので、ご注意下さい。

定員（先着）20 名　（申込全体の先着順）

宿泊場所　休暇村南阿蘇

〒869-160　阿蘇郡高森町高森 3219

Tel.0967-62-2111 Fax.0967-62-2100

https://www.qkamura.or.jp/aso/

【参加申込】

NPO 法人九州森林ネットワークではデジタル化を推進しています。お申し込みはメール・FAX による申込も受付ます

が、**申込フォームのご利用を優先**していただくようご協力ください。

【申し込み締め切り】

・令和7年5月14日（水）もしくは定員に達した時まで。

・フォーム・メール・FAX ともに申込全体の先着順で受付ます。（定員に達しましたらお断りする場合があります。）

●申込フォーム

https://forms.gle/cHR7uoAL6V3hnSV46

ご注意（1）右の 2 次元バーコードからもお申し込みできます。→

（2）お申し込みはお 1 人様 1 回限りです。

（3）**NPO 法人九州森林ネットワーク会員でない方**は**会員申込・登録後**にお申し込みください。→



NPO 会員申込・登録はこちらから
https://q-fn.org/membership/

●メール・FAX でのお申込み（必要事項をご記入後、下記アドレスもしくは FAX あてに送付してください。）

住　所	〒
氏　名	
連絡先	電話番号　　携帯番号
	メール
ご所属	団体・組織・役職名　（ない場合は“なし”とご記入ください。）
備　　考	（宿泊の喫煙室希望、食事や体調面で特に伝えておく必要がある場合はこちらにご記入ください）

＊当日連絡が取れるように、携帯番号は必ずご記入下さい。

《連　絡　先》　宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代 2683 番地　諸塚村企画創生課　担当：綾

電話：0982-65-1116　FAX：0982-65-0032　メール：s.aya@morotsuka.jp　携帯番号：090-4993-6913